

第23回首都オペラ公演

ARABELLA

アラベラ

(全3幕 ドイツ語上演 字幕付)

作曲：R. シュトラウス (R. Strauss)

台本：フーゴ・フォン・ホーフマンスタール

2014年 10月11日(土)

10月12日(日)

開演 14:00(開場 13:15)

神奈川県民ホール



指揮
中橋 健太郎左衛門



演出
佐藤 美晴

シュトラウスとホーフマンスタール、最後の共同作業に咲かせた大輪の花



総合芸術(ゲザムトクンストヴェルク)を目指し、台本と作曲を1人でこなしたワーグナーを別とすれば、優れたオペラが生まれる背後には必ず台本作家と作曲家の長く、緊密な共同作業がある。古くは「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」の3部作を完成したダ・ポンテとモーツァルト、「オテッロ」の高みを極めたボーイトとヴェルディ、「蝶々夫人」でも知られるイルリカ&ジョコーズとプッチーニなどなど。中でもウィーンの文学者フーゴ・フォン・ホーフマンスタールとバイエルンの作曲家リヒャルト・シュトラウスのコンビの完成度の高さは、群を抜いているといつて過言ではない。

第1作、「エレクトラ」(1909年初演)に始まり「ばらの騎士」(1911年)、「ナクソス島のアリアドネ」(1912年)、「影のない女」(1919年)、「エジプトのヘレナ」(1928年)、「アラベラ」(1933年)まで四半世紀弱の間に6作のオペラ。さらにカンタータ「優れた者を、早き幸は」(1914年)、バレエ「ヨーゼフの伝説」(同)、コメディ・バレエ「町人貴族」(1918年)、祝祭劇「アテネの廃墟」(1924年)といったレアな作品にも、共同作業の範囲は及ぶ。

詩人、作家、劇作家と多彩な顔を持つホーフマンスタールはネオロマン主義の旗手と目され、後期ロマン派の作曲家シュトラウスとは時代精神を共有していた。何より、言葉と音楽を高い次元で融合させた20世紀以降の音楽劇場(ミュージックテアター)様式の礎を築いた偉人であり、演出家のマックス・ラインハルトらとともに、ザルツブルク音楽祭も創設した。

「アラベラ」では当初、「3幕の喜劇的オペレッタ」を目指したホーフマンスタールと、「『ばらの騎士』を超える大作」を望むシュトラウスの見解が大きく食い違い、現存する往復書簡集にも激しい応酬が生々しく収められている。だが長年のパートナーどうし、何度も意見をすり合わせ、たそがれ行くウィーン社会の夕映え(アーベントロート)を美しく描いた作品であっても、決して「ばらの騎士」の二番煎じではない傑作が誕生した。1929年の台本完成を祝い、シュトラウスはホーフマンスタールに感謝の電報を打ったが、長男の拳銃自殺に衝撃を受けたホーフマンスタールは卒中の発作で急死、それを読むことはなかった。

(池田卓夫=音楽ジャーナリスト)

10月11日



アラベラ 津山 恵
ズデンカ 山口 佳子
マンドリカ 月野 進
マッテオ 内山 信吾
ヴァルトナー 東原 貞彦
アデライーデ 佐伯 葉子
フィアカーミリ 石井 実香

11日・12日



エレマー 浅野 和馬
ドミニク 御船 鋼
ラモラル 宇田川 慎介
古い女 前坂 美希
ホテルのボーイ 柳亭 雅幸

10月12日

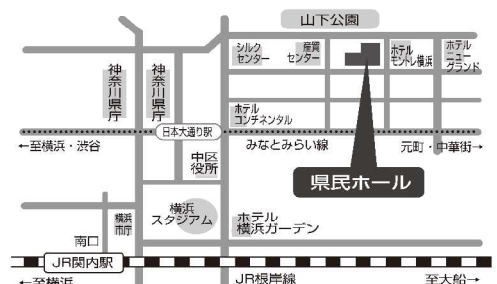


アラベラ 藤井 直美
ズデンカ 渡辺 文子
マンドリカ 安藤 常光
マッテオ 佐々木 洋平
ヴァルトナー 佐藤 泰弘
アデライーデ 相馬 百合江
フィアカーミリ 梅津 碧

10/11
アラベラ：津山 恵
ズデンカ：山口 佳子
マンドリカ：月野 進
マッテオ：内山 信吾
ヴァルトナー：東原 貞彦
アデライーデ：佐伯 葉子
フィアカーミリ：石井 実香
エレマー：浅野 和馬
ドミニク：御船 鋼
ラモラル：宇田川 慎介
古い女：前坂 美希
ホテルのボーイ：柳亭 雅幸

10/12
藤井 直美
渡辺 文子
安藤 常光
佐々木 洋平
佐藤 泰弘
相馬 百合江
梅津 碧
浅野 和馬
御船 鋼
宇田川 慎介
前坂 美希
柳亭 雅幸

- 美術： 松生 紘子
- 照明： 奥畑 康夫
- 音響： 関口 嘉顕
- 舞台監督： 徳山 弘毅
- 舞踊監督： 横井 茂
- ヘア・メイク： 篠崎 圭子
- 合唱指揮： 川嶋 雄介・楠見 哲之
- 副指揮： 諸遊 耕史・川嶋 雄介
- コレペティトゥア： 長澤 恵美子・森 順子・山岸 真紀子
- 制作： 永田 絵美・平松 八樹・吉田 宣俊
長澤 恵美子・大塚 樹美



神奈川県民ホール 〒231-0023 横浜市中区山下町3-1
http://www.kanagawa-kenminhall.com/kh_rent_f.html
みなとみらい線 日本大通駅より徒歩約6分 / JR根岸線・市営地下鉄 関内駅より徒歩約15分